



福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和 55 年に設立した在宅サービス提供機関です。

誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

秋天は高く青く、爽気満つる時、皆様には
お健やかに過ごしのことと存じます。

七十二候表によれば 10 月の初候は雁が日本に飛来

する時季です。歳時記には雁の鳴き声は、「キヤク

キヤク」と聞こえ、遠くまでよく響くとあります。この「羅針盤」が
皆様のもとにも良く響き、少しでもお役に立てば幸いです。



<紙面から>

個別地域ケア会議開催	…1ページ
役員紹介 敬老の行事	
はなみずき祭りお知らせ	…2ページ
コミュニティカフェ・文化祭のお知らせ	
楽しさ満載デイサービス	…3ページ
お知らせ リレーコラム	…4ページ



個人の課題と地域の課題 個別地域ケア会議開催

高齢者総合センター在宅介護・地域包括支援センターは、7月19日に第1回個別地域ケア会議を開催しました。

「少子高齢無縁社会」の進行に対応するために、「お一人暮らしの親族がいない女性が、これからも地域で暮らし続けるために」をテーマにしました。

ご本人をお招きして、そのご意向を伺いながら、主治医やケアマネジャーなど総勢11名が集まり、支援方策を話し合いました。「今の不安」、「将来の不安」を整理しながら、その人らしい在宅生活を送るために、



- 自分自身の心身状況、生活状況をきちんと把握する
 - 在支などの社会資源に早くつながり、多機関連携の中心に自分自身を置く
 - どのような人生を送りたいか、生活をしたいかの意思表示を明確にする
- が重要であると確認しました。

会議は終始、ご本人の温厚な人柄もあずかって、なごやかな雰囲気でした。

また、自治会からは居住者名簿も無く、家族構成も分からない。地域課題として住民同士の繋がりが希薄になっていると指摘されました。今後は、自治会独自に回覧板を復活させ、住人同士の顔の見える関係を復活させようと考えているとのことです。



福祉関係者のみの力では、まちぐるみの支え合い、地域包括ケアを推進できません。

老いは万人に平等に訪れる自然のことです。地域にお住いのおひとりお一人が、高齢問題を「我がこと」として真摯に捉え、相互扶助の気持で行動することが大切です。

在宅介護・地域包括支援センターはその体制作りのために、これからも地域社会に密着し、尽力いたします。

役員紹介 宜しくお願い申し上げます

(平成 29 年 10 月 10 日現在)

理 事		評 議 員	
萱場 和裕 (代表理事)	大野 壽三枝	渡部 敏夫 (評議員会議長)	岩岡 由美子
森安 東光	黒竹 光弘	鈴木 省悟	竹内 啓博
安藤 真洋	千種 豊 (新任)	江幡 五郎	清水 道雄
監 事			
安田 大		大久保 実 (新任)	

祝 敬老の日



高齢者総合センターでは「敬老の日」にチャリティーヘアカットとカラオケ講習会を開催し 80 名が来場されました。

「チャリティー 100 円ヘアカット」

武蔵野理容組合加盟店 (代表世話人福崎昭生氏) 所属の 8 名の理容師さんが 50 名を超える方々の注文に腕をふるいました。

女性も 25 名ご来場されました。

「ブローもしてもらってありがとうございます」「ドライヤーのかけ方を教わったわ」「また来年！」と笑顔で言葉を交わしていました。



皆様からのご寄付は市民社会福祉協議会に寄贈しました。有難うございました。

「カラオケ講習会」

浜より子講師と課題曲

「峠越え」を熱唱し、28 名のご参加者が楽しい時間を過ごしました。「プロに習うと一味違うなあ」「こんな催しを度々してもらいたい」

「地元のカラオケ大会の自信がついた」などのご評価を頂きました。ご参加有難うございました。



北町高齢者センター 早稲田大学ピアノの会 演奏会



9 月 21 日早稲田大学のピアノの会の 11 名が来所し、ピアノのソロ演奏、連弾、ピアノとバイオリンのデュオ等、8 曲の演奏をしてくださいました。秋の歌、童謡唱歌もご利用者と合唱し、交流タイムでは、学生がご利用者の中に入り、交歓しました。若者たちの熱心な活動は、ご利用者の琴線にふれ、元気もいただきました。



高齢者総合センター デイサービス アンサンブルフェニックス来訪

ある日の午後、デイサービスに音楽が響き渡りました。ギター、バイオリン、コントラバス、キーボード、ドラムによる「われは海の子」でご利用者の心を驚づかみ、途中は手品でホッとひととき。「愛の賛歌」で切なくなり、「365 歩のマーチ」で元気にエンディング。アンコールの「ふるさと」では前列の K さん、F さんは「泣けちゃうわあ！」と涙をふいていました。演奏者も口々に「楽しかった。みなさんからも元気をもらいました」と言ってくれました。



はなみずき祭り 開催のお知らせ

地域に支えられる北町高齢者センターでは、センターを地域の皆様により良く知って頂くために、はなみずき祭りを開催します。喫茶コーナーや軽食販売、ご来場者が体験できるコーナーなど企画しました。是非、お気軽にお越しください。

日 時：11 月 11 日 (土) 11 時～13 時 30 分 場 所：北町高齢者センター

内 容：粘土細工体験・手芸体験コーナー、巣箱作りワークショップ、ご利用者の作品展示、軽食販売、バザー、地元の野菜販売など

問合せ：北町高齢者センター ☎ 54-5300



コミュニカフェ

高齢者総合センターってどんなところ？

そんな声を時々お聞きします。

今年もセンターと地域の福祉活動団体の紹介をいたします。ぜひお気軽に、お誘いあわせの上、お茶を飲みに行ってください。

日時：10月27日（金）11時から13時30分

内容：●オープンカフェ（無料コーヒー・ほうじ茶）

●苔玉作り（ガーデニング三浦講師）

●13時頃～バイオリン演奏

（自主グループ・まつぼっくりの会）

●おいじたく相談（権利擁護センター）

●パン・ラスク販売 ●地域の福祉

団体（NPO 法人ペピータなど）のパネル展示・福祉機器の展示

場所：高齢者総合センター西側敷地

（雨天時センター内）

主催：高齢者総合センター

共催：緑町きらきらプロジェクト

千川地域社協

中央、西久保、大野田各福祉の会



秋のふれあい文化祭



高齢者総合センター各種講座の受講者の皆様の作品を展示し、発表会、茶会などを催します。

同時にデイサービスご利用者の作品展も開催します。いきいき、円熟した人生の先輩方の息吹にふれてください。ご来場をお待ちしています。

日時：11月9日（木）～10日（金）

10時～16時（10日のみ15時30分まで）

場所：高齢者総合センター

内容：9・10日茶会・展示・発表会

9日●茶会10時30分～

●発表会10時～12時

（音楽系講座、ジャズダンス、マジックなど）

10日●コンサート13時30分～15時（開場13時）

「魅惑のタンゴ&情熱ラテンコンサート」

（ボーカル講師：石井三榮子氏）

9・10日●展示（油絵・デッサン・水彩・パステル・水墨画・書道・折り紙・陶芸・寄せ植え）

問合せ：高齢者総合センター ☎51-1975



楽しさ満載 高齢者総合センターデイサービス



恒例の夏祭りを8月30日に開催し、参加者全員で、往く夏を惜しみながら、楽しいひと時を過ごしました。幼き頃の思い出がよみがえる縁日の食べもの、各種のお飲み物の他、お酒の好きな方にはノンアルコールビールもご用意して、のどを潤して頂きました。

デイのお祭りには欠かせない和太鼓・SOHの魂のパフォーマンス。その熱演にご利用者Fさんは何度も「胸がしびれるわぁ」と酔いしれました。今年が目玉は盆踊りの生演奏、スタッフの三味線とSOHの太鼓に合わせ、ご利用者Iさんが東京音頭を歌います。

社会活動センターのカラオケで鍛えたそのノドで会場を魅了しました。

一般のお客さま81名など総勢175名が、にぎやかに楽しく交流し、みんなが主役の楽しいひと時となりました。



渾身の演舞



子どもたちとの語らい

敬老会 大盛況！

ご利用者の長寿を寿ぐ敬老会。演目のトップバッター大正琴サークル「ユースフルメッツ」の見事な演奏に聞きほれ、次の「アロハ・ピカケ」のフラダンスでは南国ムードに浸りました。アロハ～、皆が和み、わきあいあいでした。お祝い膳は松花堂弁当。午後には音楽会とお茶席。100歳のMさんがお正客。お点前をじっくりと眺め、そして笑顔でお菓子をぺろりと平らげました。

まごころこめて皆様のご長寿をお祝いした一日でした。



フラは総合芸術

会社からのお知らせ

老いじたく講座 ～成年後見制度について～

誰にでも訪れる老いに備え、元気なうちから準備して尊厳ある老後生活を築きましょう。

日時 10月30日(月)13時30分から15時00分
場所 高齢者総合センター 4階研修室

～エンディングノート 書き方講座～

日時 11月13日(月)13時30分から15時00分
場所 福祉公社 1階会議室

問合せ 在宅サービス課 権利擁護センター
申込 ☎ 23-1165

ご寄附、誠にありがとうございました

平成29年9月に2件のご寄附をいただきました。

武者春樹様、並びに五日市通り親交会様に心より感謝申し上げます。

武者春樹様 300,000円

(寄附金の使途：公益目的事業のため)

五日市通り親交会様 5,000円

(寄附金の使途：特定しない)

(寄附者氏名及び団体等は寄附の受け入れ順に記載)

職員リレーコラム

第41回 「猫ちゃんと思いやり」

ホームヘルプセンター武蔵野 田中 陽子



3人の子供たちは自立し、今は、主人と猫2匹(ティアラ、ぽん太)と慎ましく生活しています。最近、猫ちゃんブームだそうですが、私の家庭で癒されているのが猫ちゃんとの戯れです。人間と同様に、猫にもそれぞれ性格があります。何をしても怒らない「ぽん太」。自分から抱っこをせがんでおきながら、いきなり「ふーっ」とあっちにいつてしまう「ティアラ」。そんな猫ちゃんたちに共通点があります。こちらが思いやりをもって接していけば、どんだんなついてくる点です。そして、主人も優しく猫ちゃんたちに接していくようになり、おかげで楽しく朗らかな家庭を築いています。

「自分が変われば、相手も環境も変わる。」との言葉があります。職場でも「思いやり」の気持ちでこれからも仕事に取り組みたいと、猫ちゃんたちにご指導？を受けている今日この頃です。

⇒ 次回は ホームヘルプセンター武蔵野 久保 順子 です。

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

次号は平成29年11月10日発行予定です



武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車

☎0422-23-1165 (総務課、在宅サービス課)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1

バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護支援・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

☎0422-54-5300 バス停「北町四丁目」から徒歩三分
業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>